平成31年3月28日	参考人提出資料
第4回　歯科口腔保健の推進に係る う蝕対策ワーキンググループ	

う蝕対策で必要な視点

日本口腔衛生学会
理事長　森田　学

公衆衛生レベル

（歯科医師が外に積極的に出かける）
（各ライフステージに応じた切れ目のない対策）

- **中高生での歯科保健教育の是正（←う蝕は子供だけの病気？）**

- **大学、専門学校での歯科健診（保健教育）の充実とデータの把握**

- **職域・地域での歯科健診・啓蒙（健康都市・健康経営の視点）**
  - ○ 効果的な保健指導、システム
  - ○ 歯科健診の標準化、簡便な歯周病検査（歯周病検診の時間・負担軽減）
  - ○ 歯科医療機関との連携

- **正しい情報提供（例）**
  - ○ 「う蝕治療をしても再発する可能性がある」
  - ○ 禁煙者の代替品が甘味製品？
  - ○ スポーツドリンクの飲用（熱中症対策で常飲？、運動の後？）
  - ○ 「歯磨き後のうがいは１回軽く」

診療室では

- （う蝕の）治療　に加え　（う蝕の）リスク軽減が必要
- う蝕の発症に関する考え方の変化

  ミュータンスレンサ球菌、ラクトバチラス、砂糖

  ⇩

  多種多様の細菌、多種多様の発酵性糖質

- 隣接面う蝕、二次う蝕、根面う蝕の早期発見（PMTC後）

「未処置歯あり」と関連した因子（勤労者）

因子	オッズ比
年齢	NS
収入	NS
大卒	0.55＊
時間外労働時間/月	
1-45	1.76
45-80	2.56＊
80-	3.01＊
2回　ブラッシング/日	0.58＊
間食習慣あり	1.57＊
定期的歯科受診あり	0.33＊
職場の友人関係が悪い	1.42＊
喫煙あり	1.96＊

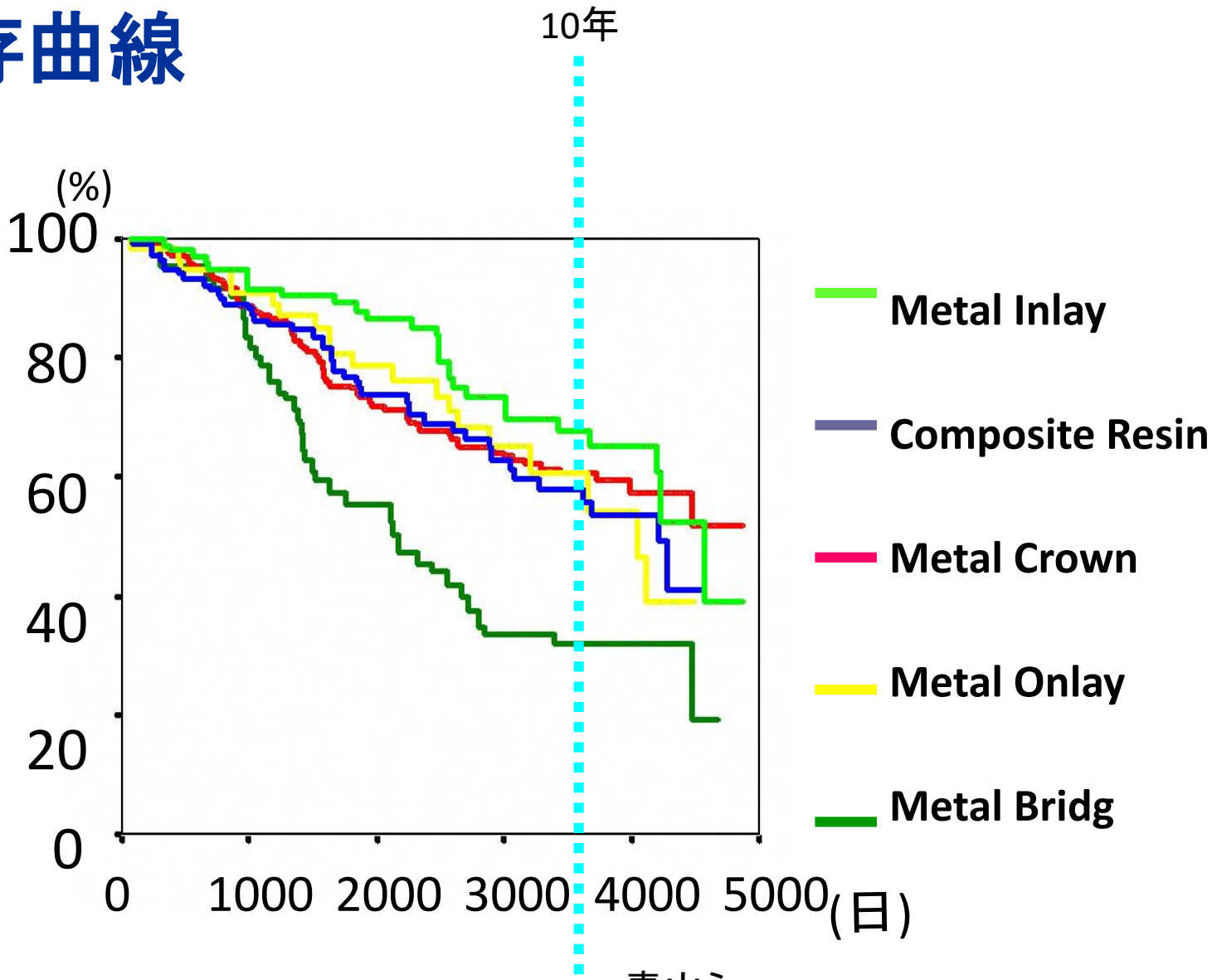
- 951名
- インターネット調査

治療しない理由（多い順）

1．痛くない
2．たいした問題ではない
3．仕事が忙しい
4．開院時間帯には行けない
5．治療が嫌
6．何度も通えない
7．お金がかかる
8．近くに歯科医院がない

Yoshino et al.
J Occup Health 2017; 59(3): 280-5
Relationship between amount of overtime work and untreated decayed teeth in male financial workers in Japan

生存曲線



青山ら
口腔衛生会誌　2008; 56: 16-24
臼歯部修復物の生存期間に関連する要因